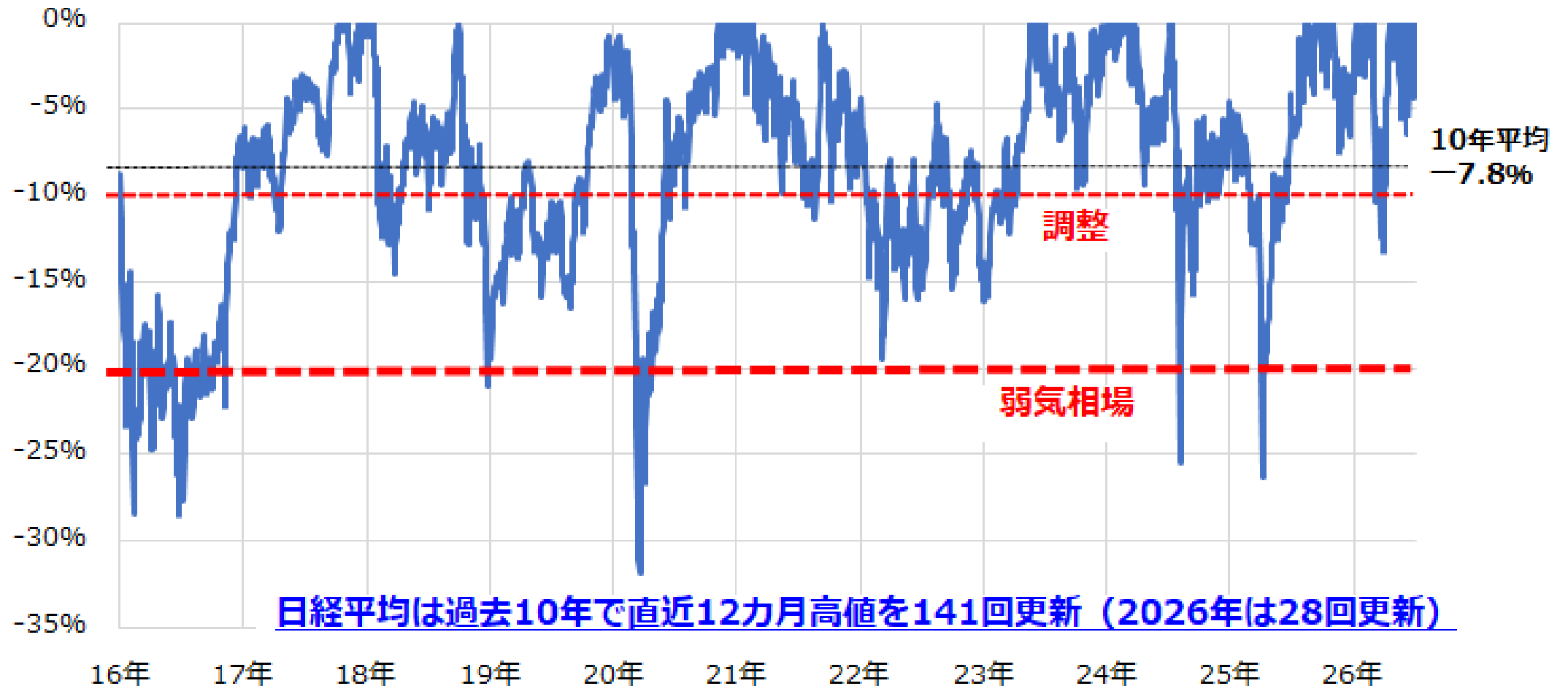


日経平均のリスクをドローダウンで検証

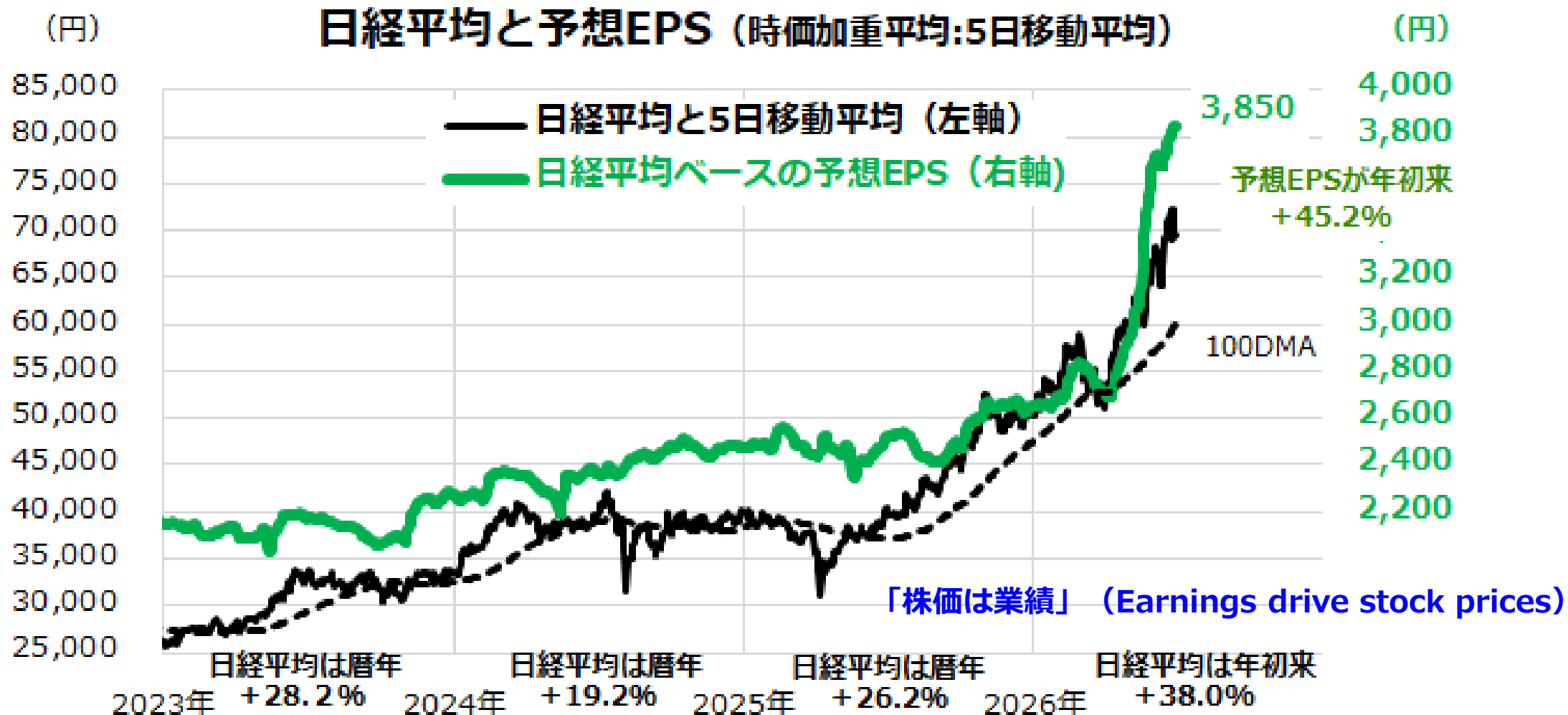
大台乗せによる高値警戒感、利益確定売り、内外投資家のリバランス売りが重なった

日経平均のドローダウン（直近12カ月高値からの下落率）



日本企業の業績見通しは史上最高益更新へ

業績見通し上方修正：AI・半導体部材企業の好決算で予想EPSは年初来で45%超増



(出所) 日経平均ベースの予想EPS (日経平均プロフィール/今期予想=会社予想と市場予想コンセンサスの合成) の5日移動平均 (6月29日時点)

高市政権が「強く豊かな日本」投資枠（骨太方針案）を公表

370兆円超

戦略17分野への官民投資想定
(2040年までの概算)

政策の狙い

国が一步前に出て、民間投資を呼び込む「投資立国」へ
供給力強化 → 雇用・所得増 → 消費改善 → 税収自然増の好循環を狙う
2027年度予算編成で新たな投資枠を設け、要求上限を設けない方針

戦略17分野ごとの想定投資額（官民合計） → 市場が意識しやすい「勝ち筋」（国策に売りなし）

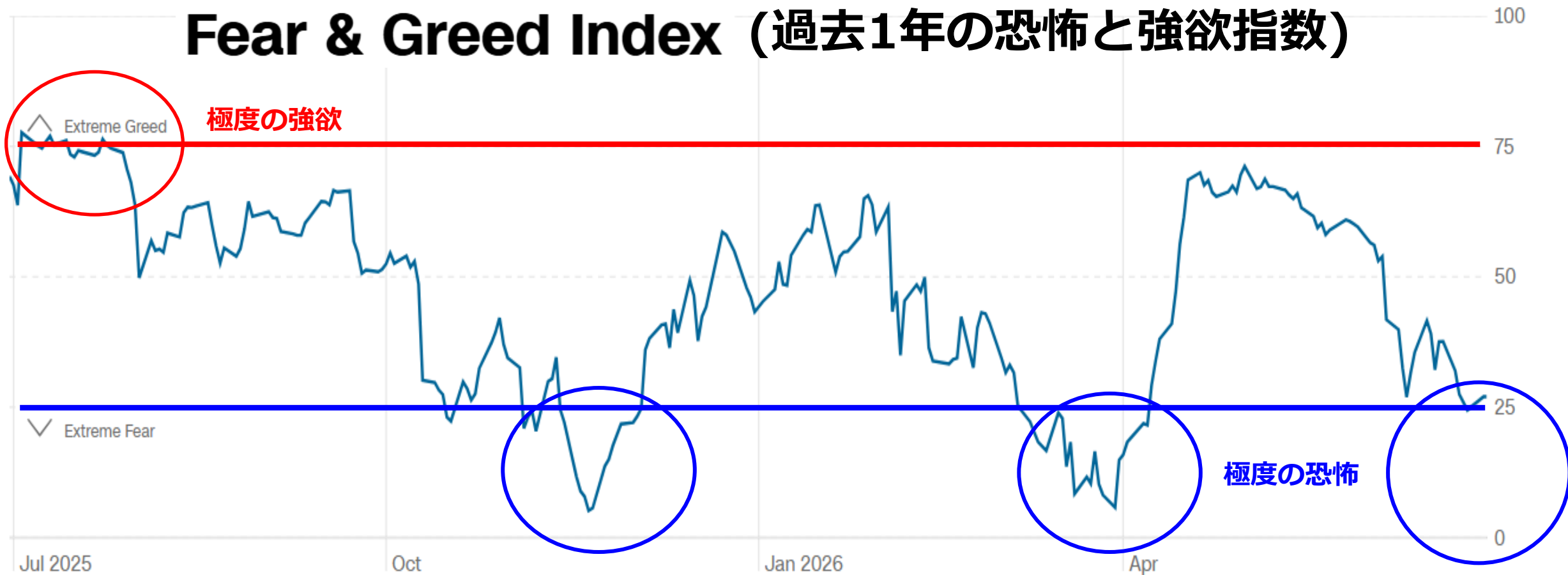
● AI・半導体	101.6兆円	● 造船	1.1兆円
● デジタル・サイバーセキュリティ	55.4兆円	● マテリアル	12.7兆円
● 情報通信	28.8兆円	● 合成生物学（バイオ）	33.6兆円
● 量子	13.2兆円	● 創薬・先端医療	43.3兆円
● 防衛産業	4.7兆円	● 資源・エネルギー安保／GX	28.8兆円
● 航空・宇宙	19.9兆円	● 核融合	3.1兆円
● 海洋	3.2兆円	● 防災・国土強靱化	2.6兆円
● フードテック	9.7兆円	● コンテンツ（アニメ・ゲーム等）	33.7兆円
● 港湾ロジスティクス	1.2兆円		

主な投資テーマ：AIインフラ、サイバーセキュリティ、エネルギー安保、防衛・宇宙、バイオ・医療、コンテンツなどが政策支援の軸に

相場心理の「総悲観」と「総楽観」を見極める方法

「他人が貪欲なときに恐れ、他人が恐れているときに貪欲となれ」 (ウォーレン・バフェット氏)

Fear & Greed Index (過去1年の恐怖と強欲指数)

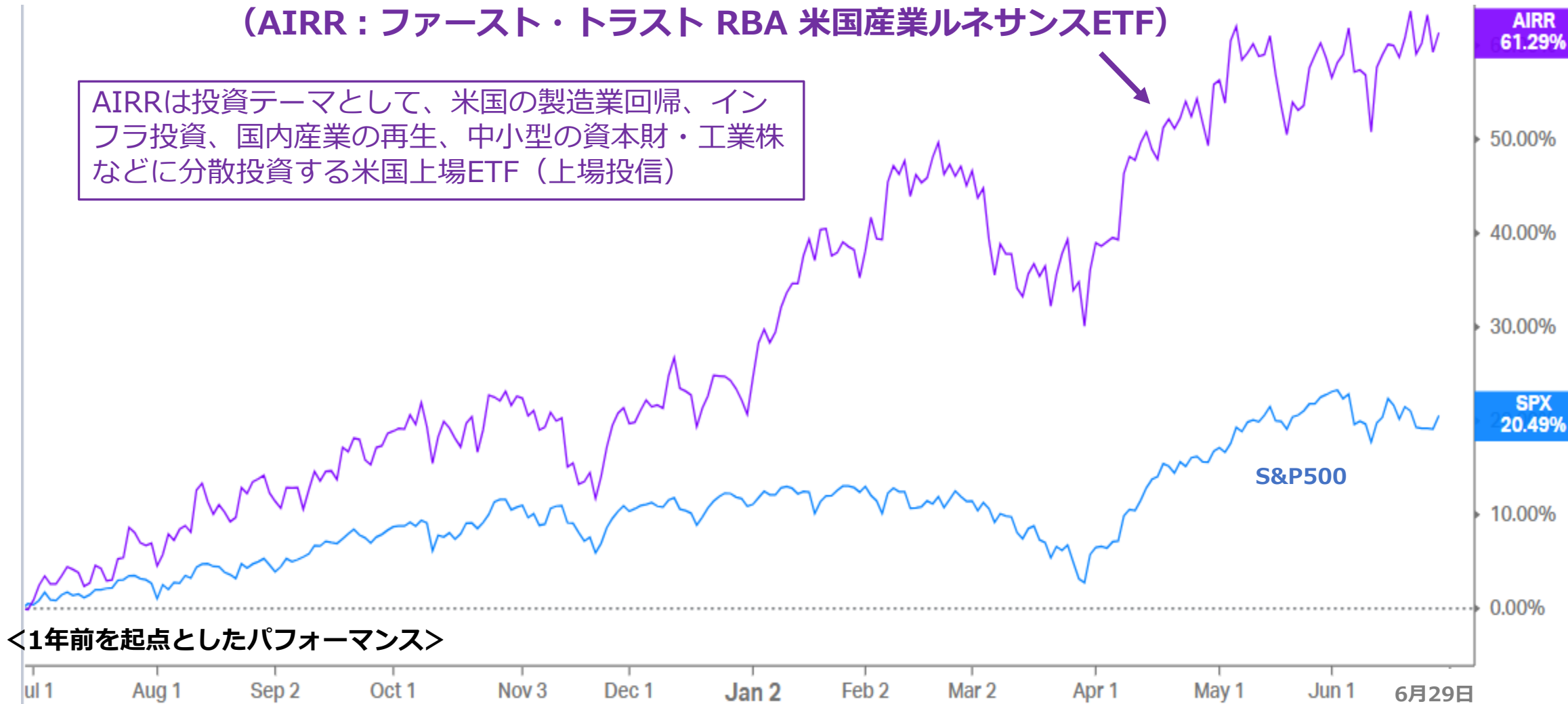


URL : <https://edition.cnn.com/markets/fear-and-greed>

(参考情報) 米国上場の「米国産業ルネサンスETF」に注目

First Trust RBA American Industrial Renaissance ETF (AIRR : ファースト・トラスト RBA 米国産業ルネサンスETF)

AIRRは投資テーマとして、米国の製造業回帰、インフラ投資、国内産業の再生、中小型の資本財・工業株などに分散投資する米国上場ETF（上場投信）



AIRRの詳細情報→ <https://www.ftportfolios.jp/etfs/airr>

(出所) 市場データと各種情報より作成 (2026年6月29日時点)